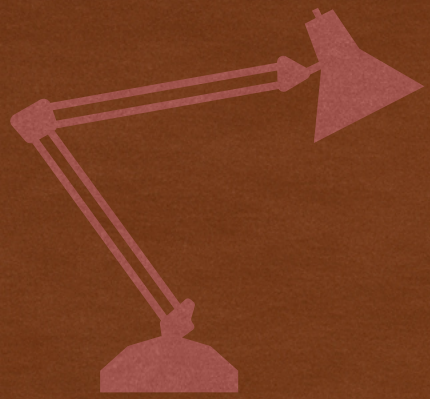




2017年7月27日

第4回CODHセミナー

IIIFを利用した人文学共同研究の ためのツールの開発について

自己紹介

佐藤正尚：

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻
修士2年

太田一行：

京都大学大学院情報学研究科知能情報学専攻
修士1年

文学研究の基本的な対象

- 基本的な対象
 - ある国の言語や文章作法、文法の形成と関わっている作品
 - ある国で代表的とみなされている作品
 - 注意：例外多数
- 哲学・美学・歴史学・社会学・言語学などの諸分野を横断する性質

目的

なぜ文学研究において共同研究が求められるのか？

- フランス文学研究であった作品観の転回
 - (前) あらゆる作品はある1つの決定版が存在している。
 - (今) あらゆる作品は決定版とみなされているものがある。
- 20世紀を通しての傾向
 - 出版システムへの注目
 - 草稿に対する関心の高まり = テキスト生成論
 - 草稿を研究する方法の議論や統一的な方針の模索
 - 1968年に創設された Institut des textes et manuscrits moderne
- 複数人が同一対象に向き合う文学研究

cf. 「プレイヤード叢書」 → 複数人が協力して作品の解釈をまとめる

テキスト生成論について考え直す

- 現在、様々な資料の電子化に伴って研究環境は向上
- 多くの言語で応用可能
- 草稿が残されている作品はとても多い
 - しかし、文学研究のメソッドは国ごとに異なっており、メソッドとその評価基準がそれぞれ異なるという問題もある。

テキスト生成論は、電子資料の公開とその応用が進んでいく現在において国際的な展開を示す可能性がある。

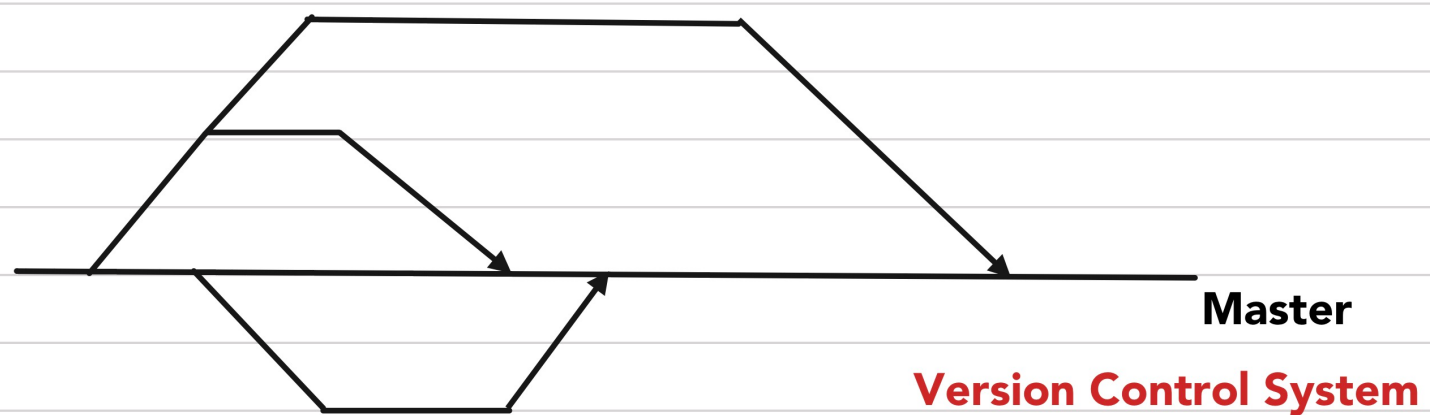
課題

何が共同研究を必要とさせるのか

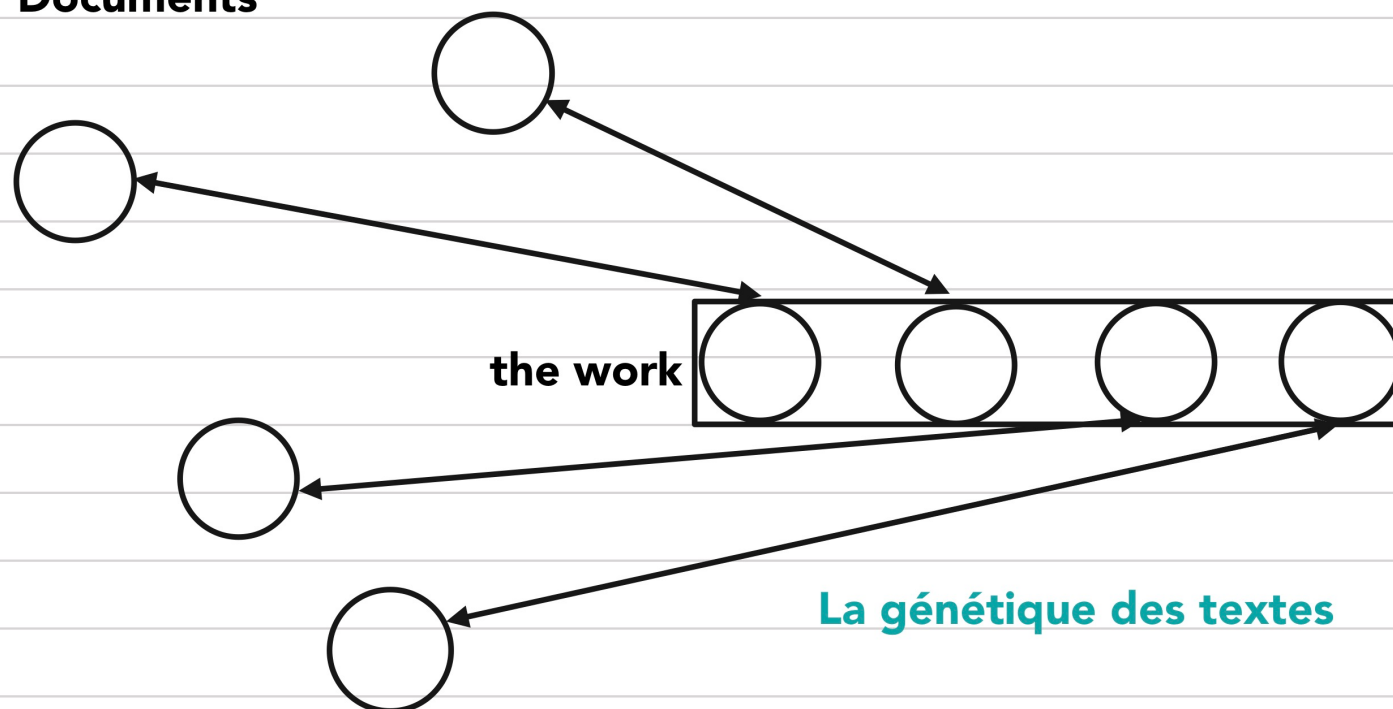
- フランス最大デジタル・コレクションGallicaのIIIF対応
 - 注釈が共有しやすくなっている。
- 専門性の高い文学研究で共同研究を支援する方法が必要
 - ツールの開発
 - テクスト生成論とバージョン管理システムの類似点

VCSとテキスト生成論

類似点



Documents



過程

VCSで管理されているバージョンを「過程」と読み替えると、テキスト生成論における作品の生成過程に関係。

履歴

VCSでは誰が何をいつ変更したのかの履歴が残る。テキスト生成論の作業は作家の作品に対するコミット履歴を復元する作業と言える。

実践

何をどうすべきか

- 人文学研究向きの機能の備わっているMiradorには注釈機能もあるので、それを利用。
- 注釈の共有を効率化するようなフレームワークを考える。
- 第114回 人文科学とコンピュータ研究会発表会
- Miradorを利用したクラウドソーシングによるコラボレーション・システム——人文学の共同研究における分析と理論の構築を支援するシステムの提案

VCS_mirador

VCS-MIRADOR ALPHA

[Home](#)

[Help](#)

[users](#)

[Documents ▾](#)

[Account ▾](#)



pot

Annotation

Post

based on Ruby on Rails Tutorial by Michael Hartl

[About](#) [Contact](#) [News](#)

VCS-MIRADOR ALPHA

[Home](#)

[Help](#)

[users](#)

[Documents ▾](#)

[Account ▾](#)

Adding a Document

Name

La Blanchisseuse